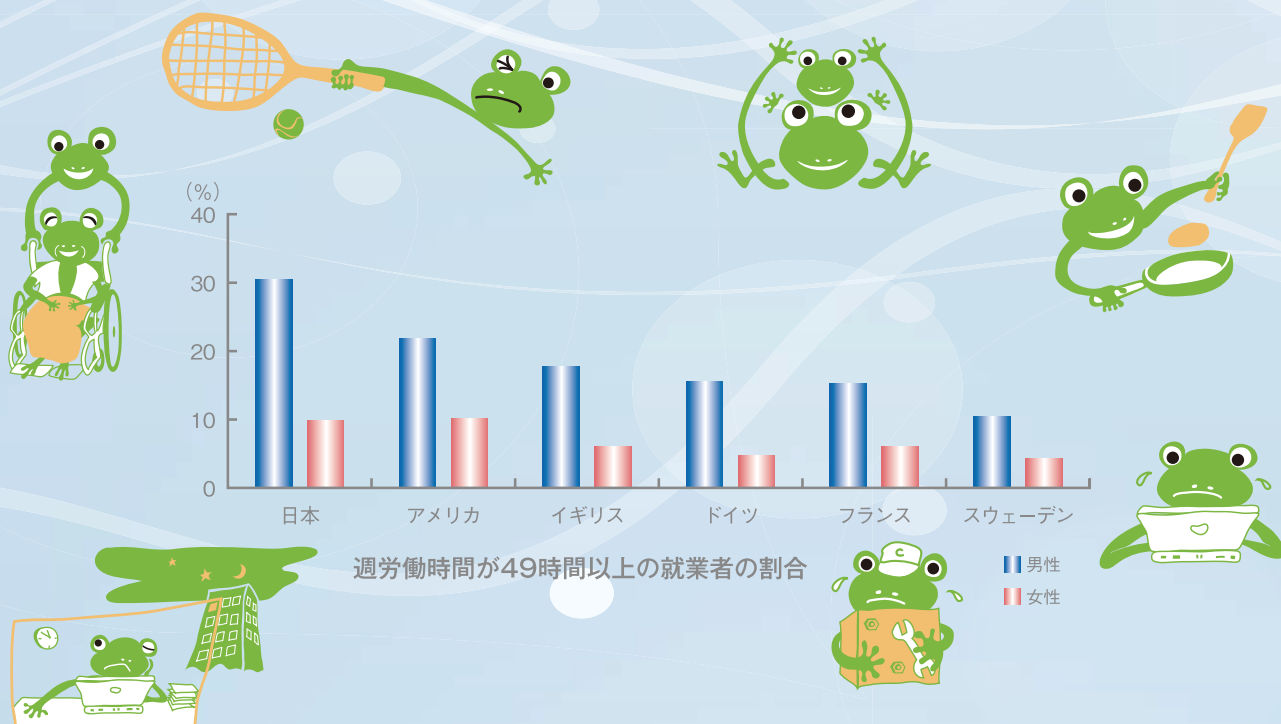


仕事と生活の 調和 (ワーク・ライフ・バランス) レポート 2014

仕事は「時間」から「質」の社会へ
～ もっと進めよう ワーク・ライフ・バランス！
国が、地方が、企業が、私たちが～



平成27年2月

仕事と生活の調和連携推進・評価部会
仕事と生活の調和関係省庁連携推進会議

表紙のグラフは、週労働時間が49時間以上の就業者の割合を国際比較で表しています。
(備考)

1. ILOSTAT Database (<http://www.ilo.org/ilostat/>) より作成。(2015年1月現在)
2. 原則として全産業の就業者を対象としている。ただしアメリカは休業者を除く従業者を対象としている。
3. アメリカは2012年、それ以外は2013年の数値である。